

# 物価「上がった」89%

## 日銀アンケート 14年ぶり高水準

日本銀行が6日発表した6月の生活意識に関するアンケートで、今の物価が1

年前と比べて「上がった」との回答が89・0%と、前回3月より7・8%上昇し、約14年ぶりの高水準となった。暮らしにゆとりがない理由に物価高を挙げる人も増え、家計の負担感が増していることをうかがわせる結果となった。

1年後の物価についても「上がる」との回答が87・

1%と14年ぶりの高水準になり、当面は物価高が続くとの見方が多かった。

1年前より物価が「上がった」との回答のうち、「かなり上がった」が30・6%、「少し上がった」が58・4%だった。消費者に身近な食料品やエネルギーの価格上昇が影響したとみられる。物価が1年前よりどの程度上昇したと思うかについて、平均で8・1%と、前回より1・5%上昇した。

また、今の暮らし向きについて「ゆとりがなくなってきた」との回答も前回より1・5%増えて43・2%になった。理由（複数回答）としては「物価が上がったから」を挙げた人が78・9%と最も多く、約14年ぶりの高水準だった。

アンケートは5月6日～6月1日に全国の20歳以上を対象に行われ、約2千人から有効回答を得た。

(徳島慎也)